第３章　苫小牧市総合戦略

１．　総合戦略の基本的な考え方

総合戦略策定の背景と趣旨

少子高齢化の進展により人口減少時代を本格的に迎え、人手不足が与える社会的影響が深まる中、将来にわたり持続可能な社会を維持していくための取組が求められています。

これまで平成 27 年度（2015 年）から令和元年度（2019 年）までを取組期間とした第 1 期苫小牧市総合戦略に基づき各種事業を展開してきたところですが、本市の社会動態・自然動態の推移をみると、引き続き人口減少が進む傾向にあることから、これまでの取組も含め、新たな視点を加えた、切れ目のない施策の展開が求められます。

また、本市は優れた交通アクセスを持ち、さまざまな産業が集積する産業拠点都市として発展を続けてきましたが、今後においても北海道経済を支える要のまちとしてあり続けるためには、人口減少に伴う人手不足に起因する経済活動の停滞等、社会不安を解消していかなければなりません。

人口減少を極力食い止めることはもちろん、その影響を最小限に抑え、人口が減少しても持続することができる「未来に向かって挑戦し続けるまちづくり」を進めるため、本戦略を策定します。

総合戦略の推進により目指す本市の姿

本市における課題を踏まえ、今日の状況や社会情勢の変化、地域課題を広く市民と共有し、令和 22 年（2040 年）に人口 15 万人、令和 42 年（2060 年）には人口 13 万人を維持する」との長期間の将来展望にたち、新たな総合戦略が目指す姿を以下のとおり設定します。

【目指す姿】
健康で安全な都市環境のもと、世代や性別に関わらず、
豊かで明るく誰もが住みやすい「とまこまい」

推進期間

令和 2 年度（2020 年度）から令和 6 年度（2024 年）までの 5 年間

２．　基本目標

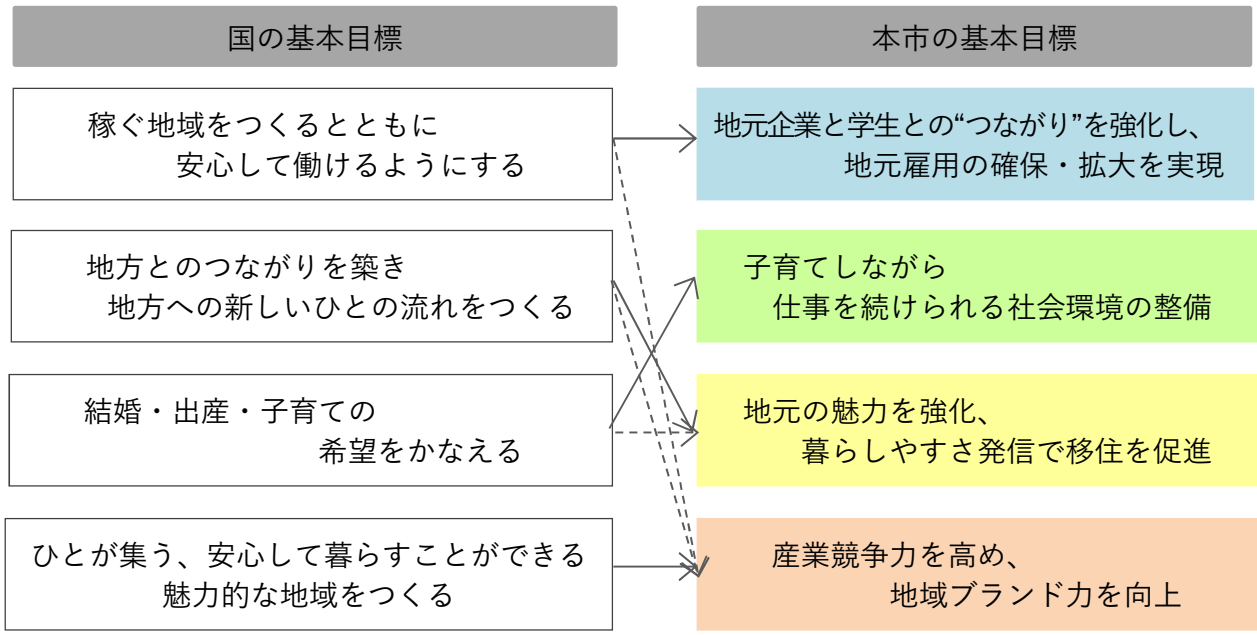
目標設定の考え方

苫小牧市総合戦略を策定するに当たって、国の定める基本目標を基にするとともに、本市における課題認識や優先順位を考慮し、第１期の総合戦略において４つの基本目標を策定しています。

雇用については「**若者の雇用**」、子育てについては「**子育てと仕事の両立**」、移住については「**本市とのつながりや愛着の醸成**」を基軸に基本目標を設定しており、本市の実情に合わせた基本目標となっています。

また、本市は、北海道の中でも比較的積雪が少なく、夏の冷涼な気候、ダブルポート（苫小牧港と新千歳空港）を有する立地、製造業等の二次産業の占める割合が高いといった特徴があり、産業振興（企業誘致）が地域経済を支えてきた側面があります。そこで、「**広域連携**」や「**地域ブランド力向上**」を基軸として、４つ目の基本目標を掲げています。

第２期の総合戦略においても、これらの４つの基本目標を設定します。



３．施策の体系

本市では、４つの基本目標を実現するために 18 の「施策」を展開します。それらの施策を束ねる概念として「施策の基本的方向」と施策に紐づく各事業を示しています（37 頁以降を参照）。

また、総合戦略を推進するに当たって、第１期総合戦略から継続すべき事業や、新たに取組を検討している事業のほか、中長期的な視点により、検討していくべき事業についても一部、含んでいます。今回の総合戦略に位置づけることで、既存事業の機能強化や、新規事業との組み合わせで実効性を高めています。

なお、施策はＯＯＤＡループによる管理を行い、検証結果を踏まえ、時代の求めに即応して施策の見直しを行うこととしています。そこで、本総合戦略では、各施策に対して、客観的な重要業績評価指標（ＫＰＩ）を設定しています。

４． ＳＤＧｓの視点による地方創生

第２期総合戦略では、各施策の推進に当たり、ＳＤＧｓ※1の視点を取り入れることとし、各施策がＳＤＧｓのどの目標に結びついているのか、見える化を図り、行政の個々の取組が日本はもとより世界が進める持続可能なまちづくりにつながっているのかを共有して、地方創生の推進を図ります。

５． 多様性に富んだ社会、安全・安心な地域づくりで地方創生を推進

人口減少や少子高齢化が進行する中、本市が成長を続けるとともに、活気あふれる地域をつくるためには、性別や年齢、障がいの有無、国籍などに関係なく、誰もが居場所と役割を持ち、個人として尊重され、その個性と能力を発揮し、活躍できる地域社会を実現することが地方創生を推進する重要なポイントとなります。

第 2 期総合戦略の展開に当たっては、北海道で初めて宣言した「苫小牧市男女平等参画都市宣言」に掲げた、理念を念頭に各種事業を推進することとします。

※1　ＳＤＧｓ
2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。
持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っている。

基本目標 1　地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

現状と課題

苫小牧市内から市外の転出の統計データを年齢別にみると、大学進学や就職の時期に多くの若者が市外（特に札幌市や首都圏）へ転出していることがわかります。その状況から若年層（20 歳代）の転出抑制及び転出者の再転入を促す雇用環境の充実が課題となっています。

基本目標と施策の基本的方向

市内の高校・大学等に通う学生が地元企業を知り、興味を持つ機会を設け、企業の認知度を高めます。また、若者をはじめ、働きたい人が働くことができ、地元企業の雇用を確保・拡大できるよう支援するとともに、市内創業者（起業者）の創出・育成を図ります。

さらには、Society5.0 の実現に向けた未来技術の活用を促進します。

数値目標	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
新規雇用創出数	46 人	累計 230 人
管内学生の管内事業所就職割合	45.53%	50%
新規創業者割合※	17%	19%

※市の創業セミナーを受講し、市の補助を受けて創業した方の割合

基本目標	施策の基本的方向
地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現	1-1　若者の雇用機会の確保・拡大
	1-2　学生と地元企業との“縁づくり”促進
	1-3　創業支援
	1-4　Society5.0 実現の推進

1-1　若者の雇用機会の確保・拡大

施策①　若者の市内就職の促進

■施策概要

UIJ ターン希望者等の市内就職に向け、都市部で合同就職説明会を開催し、市内企業の人材確保を支援するとともに、企業で行う職場体験や実務研修などの実施により、若者の市内就職を促進します。

また、地域の中小企業等の人材確保及び東京圏から本市へのＵＩＪターンによる就業・起業の促進を図り、活気ある地域づくり・地域経済を維持します。

■対象

・市内外の高校、大学等に通う学生、求職者
・市内の企業
・介護就業希望者

■目標・成果

・学生の市内企業への就職促進
・ＵＩＪターンの促進

■事業名・事業の内容

合同就職説明会事業　【工業・雇用振興課】

➢　苫小牧市内の企業が参加する合同就職説明会を都市部で開催することにより、新たな労働力市場を開拓するとともに企業の採用力を強化し、もって市内企業の人材確保を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
内定者数	9 人	累計 40 人

若者人材育成事業　【工業・雇用振興課】

➢　求職者を研修生として雇用した上で、建設業に就労するために必要な基礎知識や技能・資格を取得する施設内研修の後、企業で職場体験や実務研修を行い、やりがいある就労につなげるとともに、建設業の人材確保を支援する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
就職者数	6 人	累計 30 人

若者地元定着促進事業　【政策推進課】

➢ 大学進学にかかる教育資金の補助を通じて、若者の市内就職を促進し、人口減少の抑制と生産年齢人口の確保を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
登録者数	-	累計 50 人

苫小牧ＵＩＪターン新規就業支援事業　【政策推進課／工業・雇用振興課】

➢ 東京 23 区から本市に移住し、北海道のマッチングサイトにあらかじめ登録した中小企業等に就業、または起業した方に対して、移住支援金を支給する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
北海道のマッチングサイト求人掲載数	-	100 件

介護人材確保支援事業　【介護福祉課】

➢ 介護就業希望者を人材派遣会社で雇用し、基礎研修及び介護事業所での職場実習を実施。実習において、本人と介護事業所の希望が一致した際に当該事業所での雇用につなげる。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
就職者数	12 人	累計 75 人

介護職員育成支援事業　【介護福祉課】

➢ 介護に関する研修を修了し、市内の介護事業所で一定期間就業した者に対して、研修受講に要した費用の一部を助成する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
介護職員育成支援人数	29 人	累計 200 人

※2　*ＵＩＪターン*
大都市圏の居住者が地方に移住する動きを示す総称。Ｕターン（出身地に戻る）Ｉターン（出身地以外の地方へ移住）Ｊターン（出身地の近くの地方都市に移住）

1-2　学生と地元企業との“縁づくり”促進

施策②　学生と地元企業との交流・連携機会の創出

■施策概要

無料就職マッチングサイトにより、市内外の学生をはじめ、求職者に市内企業の魅力や求人情報を広く周知します。

高校生等を対象とした職場見学とセミナーを組み合わせたバスツアーを開催するなど、学生と地元企業が出会う機会を設け、企業活動や仕事に対する理解を深めます。

また、地元企業と連携して小学生を対象とした疑似的な就労体験イベントを実施します。

■対象

・市内外の求職者
・市内の大学、高等専門学校、高校、中学校、小学校
・市内の企業

■目標・成果

・希望する就職先として市内企業（大手企業、中小企業）の名前が挙がる
・学生に地元企業の魅力や役割を学ぶ機会を提供

■事業名・事業の内容

就職マッチング支援事業　　【工業・雇用振興課】

➢ 苫小牧市しごとマッチングサイト「とまジョブ」の運営や、サイト内の求職者・企業登録の促進、求人情報の魅力的な掲載のための支援や事業周知をすることで、市内就職を促進し、市内企業の人材確保を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
掲載企業数	63 社	450 社

就業チャレンジ支援事業　　【工業・雇用振興課】

➢ 市内及び本市周辺の学生を対象に、市内企業の職場見学とセミナーを組み合わせたバスツアーを実施し、職業観の醸成を図るとともに市内企業への理解を深め、学生の市内就職促進を目指す。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
参加者数	289 人	累計 1,450 人

キッズタウン開催事業【青少年課】

- 小学３～4 年生が疑似的な就労体験および消費体験を行う仮想の街「キッズタウン」を作り、地元企業との連携・協力を進める。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
参加企業・団体数	24 社	27 社

関係機関と連携した各種取組の展開
【政策推進課／港湾・企業振興課／工業・雇用振興課】

- 苫小牧駒澤大との連携協定に基づく側面支援により、学生の地域参加の意識を醸成し、地元就職を促進する。
- 教育、経済、行政など関係機関と連携して、企業見学等を実施し、地元や周辺地域の学生と市内企業とのつながりを深め、産学官連携や人材確保を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
参加者数	355 人	累計 1,800 人

1-3　創業支援

施策③　苫小牧における創業支援

■施策概要

苫小牧市内での創業希望者に対して、創業前後に必要な支援を行うほか、本市からスタートアップ企業やベンチャー企業が新規創業するための土壌づくりを行います。また、関係する機関（商工会議所、金融機関等）と連携し、創業希望者に対して支援を行います。

女性のエンパワーメントや潜在層の起業支援、起業後の交流の場を設けるなど、女性活躍に向けた取組を促進します。

■対象

・創業希望者

■目標・成果

・地域経済の活性化（地域産業の多様化、スモールビジネスの創業）
・女性活躍に向けた創業支援の強化

■事業名・事業の内容

創業サポート事業　【商業振興課】

➢ 苫小牧商工会議所及び苫小牧市男女平等参画センターの協力のもと、市内での創業希望者に対してセミナーを実施し、創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、中小企業者等の育成を図る。
➢ 本市発のスタートアップ※3企業、ベンチャー企業※4が生まれる土壌づくりができるよう、全体的な事業見直しを検討する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
新規創業セミナー参加者数	69 人	72 人

創業等相談窓口の機能強化　【商業振興課】

➢ 苫小牧商工会議所の相談窓口について広く周知するとともに、各種中小企業支援機関との情報連携を深めるなどの機能強化を図り、中小企業者や創業希望者等の課題を円滑に解決できるよう努める。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
相談件数	825 件	870 件

女性活躍促進事業　【協働・男女平等参画室】

➢ 女性活躍促進交流事業や起業セミナー、起業コンシェルジュサービス等を通じ、女性のエンパワーメント※5 や潜在層の起業支援、起業後のコミュニティ形成等、女性活躍に向けた取組を促進する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
事業参加者数	-	150 人

※3　*スタートアップ*

急速に成長して大きな対価を短期間で生み、市場環境を劇的に変える可能性を秘めた企業。

※4　*ベンチャー企業*

新技術・新事業を開発し、事業として発足させた中小企業。

※5　エンパワーメント

社会，組織の構成員ひとりひとりが，発展や改革に必要な力をつける（エンパワーメント）という意味

1-4　Society5.0 実現の推進

施策④　Society5.0※6 の実現に向けた技術活用の支援

■施策概要

全国的に労働人口の減少が進む中で、市内企業が抱える課題・ニーズへの解決や新規事業を創出するため、先進的な技術やサービスを導入する企業に対して支援します。

市の取組として、定型業務へのＲＰＡ導入※7、問い合わせ業務のＡＩ※8 化などにより業務効率化を図り、時代のニーズに応じた高い行政サービスの実現を目指します。

また、安全・安心なまちづくりのさらなる取組として、消防活動のＩＣＴ化（ロボット導入）を検討します。

■対象

・市内企業・団体
・苫小牧市

■目標・成果

・市内における新たな技術・サービスを導入する機運の醸成や地域産業の活性化を図る

■事業名・事業の内容

苫小牧イノベーション活性化事業　【工業・雇用振興課／政策推進課】

➢ 課題解決や新事業の創出のため、先進企業等が持つ新たな技術やサービスを導入する市内企業を支援する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
補助件数	-	累計 30 件

行政サービスのＩＣＴ化　【行政監理室】

➢ 時代にマッチした行政運営を行い、市民ニーズに対応した質の高いサービスを実現するため、定型業務にＲＰＡを導入するほか、各種問い合わせ対応をＡＩ化するなど、進展する情報通信技術を活用し、業務の効率化を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
業務削減時間（年間）	-	1,000 時間

消防活動のＩＣＴ化　【消防本部総務課】

➢ 自律型消防ロボットシステム導入により、消防隊が近づけない特殊災害に対応し、消防力を強化を検討する。（飛行型偵察・監視ロボット、放水ロボット）

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
飛行型偵察・監視ロボット、導水ロボット導入数	-	1 式

※6 *Society5.0*
ＩｏＴ(Internet of Things)、ロボット、人工知能（ＡＩ）、ビッグデータ等の新技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れイノベーションを創出し、一人ひとりのニーズに合わせる形で社会的課題を解決する新たな社会。

※7 *RPA（Robotic Process Automation）*
「RPA」とは、ロボットによる業務自動化の取組を表す言葉で「デジタルレイバー（Digital Labor）」や「仮想知的労働者」とも呼ばれる。

※8 *ＡＩ（Artificial Intelligence）*
コンピュータなどで人間と同様の知能を再現しようとするもの。またはその一連の基礎技術。

基本目標
2

子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備

現状と課題

現在の合計特殊出生率を維持しても人口は減ることから、合計特殊出生率をさらに上げ、出生数を増加させなければ、人口減少の抑制は難しいと考えられます。そこで、出産や子育てしやすい環境を整備するとともに、子育ての経済的負担感の軽減（市民を対象としたアンケート調査では「理想の子どもの数が理想より少ない理由」として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」との回答が約 6 割）が課題となっています。

基本目標と施策の基本的方向

現代の子育て家庭は夫婦ともに家計を支える働き手として、また地域経済を支える人材として役割を担っており、多様化する世帯構成に対応した子育て支援を実施する必要があります。子育ての負担を軽くする社会の実現を目指し、男女平等参画都市を宣言している苫小牧らしく、世代や性別を超えた子育て支援を推進します。

また、ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、働きやすい環境を整備し、企業の人材確保に向けた「やめない」、「人が集まる」の好循環を作り出します。

さらには、社会の変化に対応する体験学習の機会、地域資源をいかした体験プログラムの充実により、子育てにとって良質な環境を提供します。

数値目標	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
合計特殊出生率	-	1.8
子育て環境や支援の満足度【5 段階評価】	2.9	3.3

基本目標	施策の基本的方向
子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備	2-1　仕事と子育ての両立支援
	2-2　出産・子育てしやすさを実感できる支援
	2-3　苫小牧らしい教育プログラム形成支援
	2-4　ワーク・ライフ・バランスの促進

2-1　仕事と子育ての両立支援

施策⑤　ワーキングマザー＆ファザーの子育て応援

■施策概要

子育て中の母親・父親向けに講座の実施や出産・育児と両立に向けた支援することで、出産・子育てを理由とした離職を減らします。

また、子育ての物理的・経済的な負担を軽くすることで、「子どもが欲しい」「もう一人産みたい」の希望をかなえます。

■対象

・子育て世代

・市内の企業（大企業、中小企業）

■目標・成果

・出生率の向上

・地域の子ども・子育て支援の充実

■事業名・事業の内容

父子健康手帳交付事業　【健康支援課】

➢　父親の育児参加を促進することを目的に父子手帳を配布し、父親向けの子育て講座を開催する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
父子健康手帳の交付件数	1,226 件	1,300 件
子育て応援教室の参加組数	24 組	50 組

小規模保育施設整備事業　【こども育成課】

➢　0～2 歳児の保育を行う小規模保育施設の整備を推進することにより受入枠の拡充を図り、待機児童の解消及びより良い保育環境の整備を促進し、女性の職場復帰を支援する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
小規模保育施設の開設数	6 施設	15 施設
小規模保育施設の入所児童数	117 人	316 人

なでしこ就職応援事業【工業・雇用振興課】

- 働く意欲がありながらも、出産や育児などを理由に離職している女性を対象として、就職に必要なビジネスマナー、パソコンスキル習得等の研修（OFF-JT）及び就職を目的とした職場実習（OJT）等を有給で実施し、女性の活躍促進を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
就職者数	19 人	累計 85 人

放課後児童クラブの充実【青少年課】

- 保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して適切な遊び及び生活の場を提供することにより、健全な育成を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
登録児童数	1,434 人	1,383 人
クラブ数	39 クラブ	39 クラブ

多子世帯給食費助成事業　【学校教育課】

- 市内小中学校に在籍する児童生徒が 3 人以上いる世帯に対し、3 人目以降の児童生徒の学校給食費を助成する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
支給者数	-	500 人

2-2　出産・子育てしやすさを実感できる支援

施策⑥　子育て支援・保育サービスの充実

■施策概要

少子高齢化の進行や共働き世帯の増加などにより、保育所に対するニーズは多様化し、保育サービスをはじめとした子育て支援施策の充実が求められています。全ての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境整備を図り、地域社会全体における子育て支援事業の充実を推進します。

また、多子世帯家族にとって負担の大きい、保育料の無償化（３人目）や不妊治療及び不育症に係る助成を行うなど、経済的な負担軽減を図ります。

■対象

・就学前児童

・幼児とその保護者

■目標・成果

・保護者の育児負担の軽減

・子どもが心身ともに健やかに成長できる環境整備

■事業名・事業の内容

地域子育て支援事業　【こども育成課】

➢　地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進し、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
プレールーム利用数	35,761 人	36,000 人
育児相談件数	668 件	700 件
サークルルーム登録団体数	25 団体	30 団体

一時預かり事業　【こども育成課】

➢　保育園等において児童を一時的に預かり、保護者の育児負担の軽減を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
保育所型の利用児童数（延べ人数）	4,524 人	6,165 人
幼稚園型の利用児童数（延べ人数）	4,272 人	4,055 人

ファミリー・サポート・センター事業　【こども支援課】

➢　仕事と育児の両立や子育てを支援するため、小学生以下の託児などを行う。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
登録会員数	1,611 件	1,650 件
活動件数	4,478 件	4,000 件

子育て世代包括支援センター事業　【健康支援課】

➢　妊産婦とその子を対象として、妊娠・出産・子育てにおいて切れ目のない支援体制を構築し、母子保健や育児に関する様々な悩みに対応する。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
相談件数（妊娠・出産・子育て）	561 件	570 件
ケアプラン作成数	344 件	350 件
産婦健康診査受診件数	－	1,250 件

3 人目の保育料等の無料化　【こども育成課】

➢　出産・子育てしやすさを実感できる支援として、多子世帯の保育料及び副食費を無償化することにより、利用者の負担軽減を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
市独自の無償化対象児童数	275 人	270 人

特定不妊・不育症治療費等助成事業　【健康支援課】

➢　不妊症及び不育症に係る検査・治療費用に対して助成することで、子どもを持ちたい夫婦の経済的負担軽減を図る。

1　特定不妊治療及び男性不妊治療費助成
2　不育症検査・治療費助成
3　不妊検査費助成

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
特定不妊治療費助成件数	132 件	180 件

2-3　苫小牧らしい教育プログラム形成支援

施策⑦　苫小牧の地域資源をいかした体験学習・地域づくりの推進

■施策概要

豊かな感性と人間性を持つ子どもを育成するための体験学習の機会と環境の整備を図るとともに、社会の変化・地域課題に対応する人材教育としての研修を実施し、郷土とまこまいの魅力ある地域づくりを推進し、地元自慢・愛する心を育みます。

■対象

・市内の幼児・小学生・中学生・高校生とその保護者
・市民

■目標・成果

・子どもの感性と人間性、生きる力の育成
・男女平等参画、地域づくりを推進する人材の育成

■事業名・事業の内容

豊かな自然環境や文化をいかした体験プログラムの充実
【生涯学習課／青少年課／環境生活課／科学センター／美術博物館】

➢　多様な体験や交流を通じた子どもの健全な育成の観点から、豊かな自然（森や湖）をフィールドとした体験プログラムや文化交流の体験教室の充実を行う。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
体験プログラム参加人数	10,179 人	12,000 人
体験プログラム実施回数	228 回	250 回

アウトリーチ推進事業　【生涯学習課】

➢　市内の幼稚園、保育園、学校、町内会、サークル、コミュニティ団体などを対象として、アーティストバンク登録のアーティスト等を派遣し、演奏、演技などのパフォーマンスのほか、ワークショップなどを実施する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
事業数	34 事業	40 事業

苫小牧アートフェスティバル事業　【生涯学習課】

➢　出光カルチャーパークと周りの社会教育施設が連携し、「誰もが気軽に文化芸術に触れる機会の充実 」を基本コンセプトとして市民が気軽にアートに触れてもらうとともに、出光カルチャーパークのすばらしさを知っていただき、市民の憩いの空間を形成する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
ワークショップ参加者数	571 人	1,000 人

市民・団体研修派遣事業　【協働・男女平等参画室】

➢　男女平等参画に関する全国規模の研修会等（フォーラムやオーガナイザー※9 研修）へ参加する個人または団体に対して費用を補助することにより、リーダー的資質を向上させるとともに、今後の地域活動や団体等の意欲的な活動につなげる。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
研修派遣者数	3 人	累計 15 人

※9　*オーガナイザー*
組織の核や元となる人や、多くの人を集め組織をつくりあげる人を指す。

2-4　ワーク・ライフ・バランスの促進

施策⑧　「ワーク・ライフ・バランス」を重視した職場の整備

■施策概要

ワーク・ライフ・バランス※10への取組促進に向けた各種啓発を実施し、企業の従業員の意欲、能力、創造性を引き出して生産性の向上を図るとともに、優秀な人材の確保・定着への土壌をつくりだします。また、少子化の抑制、労働人口の確保など、社会全体の活性化を図ります。

また、北海道で初めて「イクボス※11宣言」をした本市の取組を民間企業へと水平展開するため、民間との合同により研修を実施する。

■対象

・市民、市内の企業

■目標・成果

・ワーク・ライフ・バランス等、働き方改革に対する社会的機運の醸成

■事業名・事業の内容

ワーク・ライフ・バランス等企業表彰
【協働・男女平等参画室】

➢　男女平等参画社会の実現に向けて、仕事と家庭等が両立できる職場環境づくりや、生き生きと働き続けることができる職場の実現に向けて、取組を実施している市内の企業、社団法人、財団法人、NPO 法人等を表彰して、広く事例を公表することで、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に関する働き方についての社会的機運の醸成を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
表彰企業数	4 社	累計 20 社

官民合同研修事業　【行政監理室／協働・男女平等参画室】

➢　イクボスやワーク・ライフ・バランスについて、市役所と市内企業の合同研修を実施する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
研修参加延人数	-	300 人

※10　*ワーク・ライフ・バランス*
仕事と仕事以外の生活（育児・介護・趣味・学習など）との調和をとり、その両方を充実させる生き方。

※11　*イクボス*
職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、部下のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司を指す。

基本目標
3

地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

現状と課題

本市の人口は、製造業をはじめとする企業進出により、平成 25 年（2013 年）までは増加を維持してきました。今後の人口移動をめぐっては、全国的に人口が減少する中で、他都市（札幌や首都圏）との競合が一層激しくなる可能性があります。そこで、これまで以上に本市の魅力や暮らしやすさをアピールし、「苫小牧市に移り住みたい」というイメージを維持・拡大していく必要があります。

また、イメージだけでなく、実際に地域コミュニティの活性化や生活利便性の向上など、生活環境の改善も併せて進めていく必要があります。

基本目標と施策の基本的方向

苫小牧出身者を本市に戻ってくる可能性のある層（移住のターゲット）として捉え、将来的なＵターンにつなげます。また、定住人口と交流人口に加え、その中間に位置する関係人口を増やすとの観点から、スポーツの振興、合宿誘致などを通じて本市に興味を持ち、繰り返し足を運んでもらえる機会を設けます。

進学や就職期に本市を離れた方が「郷土とまこまい」に戻ってきたいと思わせる環境づくりを推進します。

数値目標	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
転入者数（定住人口数）	6,122 人	6,600 人
観光入込客数（交流人口数）※	199.5 万人	260 万人
「苫小牧市は住みやすい」と回答した人の割合	33.1%	40%

※苫小牧市観光振興ビジョンの目標値（令和 4 年度）

基本目標	施策の基本的方向
地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進	3-1　苫小牧出身者のネットワーク化支援
	3-2　交流人口・定住人口の拡大支援
	3-3　“とまごころ（地元自慢・愛するの心）”の普及
	3-4　関係人口の創出

3-1　苫小牧出身者のネットワーク化支援

施策⑨　苫小牧出身者への継続的な情報発信の拡充

■施策概要

苫小牧出身者は、将来的に結婚や子育てを機に本市にＵターンする可能性があることから、本市が持つ様々な魅力を配信するとともに、暮らしの情報や空き家情報、求人情報等をホームページやＳＮＳ（フェイスブック等）、本市出身者が集う場を活用して発信し、出身者が気軽に地元の情報に触れられる環境を整えます。

■対象

・苫小牧出身者（現在、市外在住者）

■目標・成果

・本市へのＵターン促進
・市外からの転入促進

■事業名・事業の内容

旬のとまこまい情報の発信事業　【秘書広報課／政策推進課】

➢　市のホームページや公式フェイスブックを活用し、苫小牧出身者がＵターンを考えるきっかけとなる情報やお役立ち情報（暮らしの情報や空き家情報、求人情報等）のほか本市の魅力を伝える情報を配信する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（※平成 29 年度）	目標値（令和 6 年度）
ホームページアクセス数及び フェイスブックリーチ数	8,969,733 件	9,500,000 件

※実績値：平成 30 年度は胆振東部地震の発生により著しくアクセス数が多いため平成 29 年度データを実績値とする。

同窓会組織への情報発信　【東京事務所】

➢　市内高校の卒業者で組織されている東京圏の同窓会に対し、東京事務所を通じて本市の現況等をお知らせし、Ｕターンの促進を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
情報発信回数	-	累計 15 回

3-2　交流人口・定住人口の拡大支援

施策⑩　移住者の受入れ体制の充実

■施策概要

移住希望者に対して、本市の生活環境や子育て環境などの情報や相談窓口の一元化を行い、効果的な情報発信と相談支援を行います。また、空き家の情報の整理・発信や空き家への入居支援を行います。

また、本市への移住後の生活がイメージできるよう、移住希望者の要望に応じたオーダーメイド型の移住相談（市内案内）を実施します。

■対象

・市外の在住者（特に、近隣市や首都圏）

■目標・成果

・市外からの転入促進

・本市の認知度向上

■事業名・事業の内容

移住情報発信事業　【政策推進課】

- 北海道への移住を応援する情報サイト「北海道で暮らそう！」にタイムリーな情報提供を行うとともに本市公式ホームページ等で本市の暮らしに関する情報を発信する。
- 北海道暮らしフェア等のイベントを通じ、移住・定住の促進を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
イベント等での情報発信者数	54 人	累計 250 人

移住体験プログラム~苫小牧オーダーメイド移住ガイド~　【政策推進課】

- 本市への移住を検討されている方が、移住後の生活をイメージできるよう、お客様の要望をもとに市内巡覧をオーダーメイドで計画。苫小牧市内や商業施設・医療施設などをご案内する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
移住ガイド参加者数	2 人	累計 30 人

施策⑪　ご当地イベントを活用した交流人口の創出

■施策概要

本市の貴重な自然や産業施設をいかしたイベントとして定着してきた「コスプレフェスタ」、やアニメ等のコンテンツを活用した新たな観光イメージをＰＲし、交流人口の更なる獲得につなげます。

■対象

・市民以外の方

■目標・成果

・交流人口の拡大

■事業名・事業の内容

とまこまいコスプレフェスタ　【観光振興課】

➢ 港や工場、雄大な自然を背景にした、本市ならではのロケーションをいかし、道内外へ PR することにより、自然環境、産業遺産、建造物などの資源を若者文化へ開放し、次世代を巻き込んだ活性化を促進する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
来場者数	16,000 人	17,000 人

とまこまいフィルムコミッション事業　【観光振興課】

➢ 円滑なロケーション撮影のために、ロケーション情報の提供や撮影許可申請等のサポート、宿泊や弁当等関連事業者の紹介、エキストラやボランティアスタッフの手配、各種プロモーション活動への協力等の支援活動を行う。

➢ 特定非営利活動法人ジャパンフィルムコミッション主催の「全国ロケ地フェア」及び「スキルアップ研修」「道内 FC 会議」に参加し、全道・全国のフィルムコミッション担当者や関係者との情報交換とともに本市のロケ地の PR を行う。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
ロケーション撮影数	14 件	20 件

アニメツーリズム※12 推進事業　【観光振興課】

- 本市とゆかりのあるアニメ作品等を活用した事業を推進することにより、本市の知名度向上及び交流人口の増加を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
観光案内所取扱グッズ売上高	127 万円	1,000 万円

※12　*アニメツーリズム*

アニメやマンガのファンが、作品の舞台となった土地などを訪れる旅行のことで、「聖地巡礼」とも呼ばれる。

施策⑫　縁結びコーディネート機能の充実

■施策概要

結婚を機とした移住者を増やすべく、苫小牧市内在住の男性又は女性と市外在住者（札幌市民など）とのマッチングを行います。（とましん結婚相談所と連携した）メンター機能※13を強化し、結婚希望者への支援を行います。

■対象

・市内及び市外在住者

■目標・成果

・有配偶者率の向上
・出会いの場の拡充

■具体的な事業例

とまこまい縁結びサポート助成事業　【政策推進課】

➢ 本市と関係団体（商工会議所、とましん結婚相談所等）が連携し、出会いイベントやセミナーの企画等の事業展開について協議するとともに、必要に応じて開催経費等を助成する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
婚姻率※	4.82%	6.0%
とましん結婚相談所登録者数の結婚数	累計 32 組	累計 55 組

※婚姻率＝年間婚姻数/９月末日人口総数×1,000

届け出挙式　【政策推進課】

➢ 結婚情報誌「ゼクシィ」を発行している㈱リクルートマーケティングパートナーズの協力により、婚姻届の提出とセットで市役所内の議場でプチ挙式を行う「届け出挙式」を実施する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
挙式回数	4 組	累計 20 組

※13　*メンター機能*
所属する上司とは別に、年齢の近い年上の先輩社員や、社歴が近い先輩社員が新入社員や若手社員をサポートするもの。

3-3 “とまごころ（地元自慢・愛する心）”の普及

施策⑬ 郷土の魅力を伝える活動の推進

■施策概要

子どもから高齢者までの全ての市民が、本市の地域資源の魅力を知り、郷土とまこまいへの理解を深めるとともに、地元自慢・愛する心（とまごころ）の醸成につなげます。

■対象

・市民（子どもから高齢者まで）、市内企業

■目標・成果

・地元自慢の心の醸成

・市民自身の本市の魅力への理解とその魅力を伝える心（もてなしの心）の育成

■具体的な事業例

苫小牧版図柄入りナンバープレート　【政策推進課】

➢ 市名とまちをイメージしたデザイン入りの図柄入りナンバープレートにより、全国を走り回る車両が「走る広告塔」として「苫小牧」をＰＲする。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
図柄入りナンバープレート交付数	-	2,500 件

とまチョップ水事業　【上下水道部総務課】

➢ モンドセレクション※14 2019 で金賞を受賞し、国際的にも安全でおいしい水と認められた「とまチョップ水」のさらなるＰＲ展開を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
とまチョップ水販売・配布本数	92,000 本	120,000 本

氷上スポーツ事業　【スポーツ都市推進課】

➢ 幼児及び小学生（１～３年生）を対象に、氷上スポーツの楽しさ、親しみを遊びやゲームを通じて体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
スケートエンジョイスクール参加人数	3,957 人	4,000 人
アイスホッケーコース参加人数	594 人	600 人
スピードスケート体験教室参加人数	276 人	250 人

町内会スケートリンク経費助成事業　【スポーツ都市推進課】

➢ 地域における氷上スポーツの振興を目的に、スケートリンクを設置する町内会に対してその経費の一部を助成する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
スケートリンク設置数	6 か所	7 か所

国際少年アイスホッケー中学生交流事業　【スポーツ都市推進課】

➢ トヨタ自動車カナダとトヨタ自動車北海道との間で製品取引が開始されたことを記念した事業。両国の少年がそれぞれの国の文化とスポーツを経験する機会ととらえ、トライシティー（ケンブリッジ市、ウォータールー市、キッチナー市の代表）と、本市が共にアイスホッケーの街であることから、アイスホッケー競技の競技力向上と普及とともに両国の交流を促進する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
参加人数	46 人	50 人

※14　*モンドセレクション*

食品、飲料、化粧品、ダイエット、健康食品、水道水まで幅広い商品の技術的水準を審査するベルギーにある民間企業。評論家の審査を受け、モンドセレクションよりラベルが与えられる。

3-4　関係人口の創出

施策⑭　苫小牧との継続的なつながりを持つきっかけづくりの推進

■施策概要

本市は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。こうした課題に対し、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、地域外からの交流の入り口を増やすことが必要であると考えられます。

スポーツ合宿等を通じて、本市の「ファン」を増やし、地域の課題解決にも関わってもらえる地域外の人々とのネットワークを拡げる取組を推進します。

■対象

・市民以外の方

■目標・成果

・市民自身の本市の魅力への理解とその魅力を伝える心（もてなしの心）の育成

■具体的な事業

ふるさと納税事業　【政策推進課】

➢ 本市への寄附者に地元特産品を贈呈することで、本市及び地場産業のＰＲにつなげるとともに、本市が進める総合戦略に掲げた事業推進への理解を高める。

➢ 企業版ふるさと納税※15、ガバメントクラウドファンディング※16 導入に向けた取組を進める。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
リピーター率	18.8%	30%

はちとまネットワーク推進事業
【政策推進課／スポーツ都市推進課／港湾・企業振興課／観光振興課】

➢ 工業都市という類似性やフェリー航路を活用した交流人口の拡大はもとより、ご当地スポーツ（アイスホッケー）等の両市相互プロモーション事業による関係人口の創出・拡大を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
アイスホッケー事業参加人数	40 人	累計 200 人

スポーツ合宿等補助事業　【スポーツ都市推進課】

➢ 充実した交通アクセス、冷涼な気候などの本市が持つ特色をいかし、スポーツ合宿誘致により関係人口の拡大を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
スポーツ合宿件数	155 件	160 件
スポーツ学宿宿泊数	10,726 泊	12,000 泊

全国高等学校選抜アイスホッケー大会　【スポーツ都市推進課】

➢ 全国高校総体（インターハイ）と並ぶ全国大会を開催することにより、アイスホッケーの人気を高め競技人口と観るスポーツ人口の増加を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
出場団体数	28 団体	累計 140 団体

※15 *企業版ふるさと納税*
企業が自治体の実施する地方創生事業に対して寄付をすると税負担が軽減される制度。

※16 *ガバメントクラウドファンディング*
地方自治体がプロジェクト実行者としてインターネットを通して世の中に呼びかけ、共感した人から資金を募る仕組み。

基本目標
4

産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

現状と課題

本市の人口推移は製造業をはじめとする企業進出の影響が大きく、人口減少局面に突入した時代においては、更なる競争力の向上が喫緊の課題です。産業集積地である本市は、世界的な景気の影響や社会環境の変化により、常に（国際的な）地域間の競争にさらされているとも言えます。

基本目標と施策の基本的方向

戦略的な企業誘致の推進及び進出企業に対するフォローアップを進めます。多様な産業の集積を推進し、産業の高度化を目指すとともに、地域間連携による産業振興を進めます。また、国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致を図りつつ、豊かな自然環境との調和を図り、快適な都市環境を確保します。

数値目標	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
新規企業進出件数（5 年間累計）	16 件	20 件
「働く場」として魅力度※	40.5%	50%

※アンケート調査により魅力的・どちらかといえば魅力的と回答した割合

基本目標	施策の基本的方向
産業競争力を高め、地域ブランド力を向上	4-1　進出・立地企業へのサポート機能の強化
	4-2　多様な産業集積（高度化）の推進
	4-3　地域間連携の促進
	4-4　充実した都市機能と豊かな自然の共生

4-1　進出・立地企業へのサポート機能の強化

施策⑮　進出・立地企業への支援強化

■施策概要

国内市場の縮小や人口減少などを背景に、今後は企業誘致だけではなく地域経済を支える立地企業の成長が不可欠となってきます。立地企業が抱えている人手不足、人材確保等の課題やニーズに対して、継続的に意見交換・情報共有を図るとともに、課題解決に向けて連携・協力・支援を行います。

また、外国人労働者をはじめ、外国籍市民の受入体制の充実、地域との共生を図るため、相談窓口を設置するほか、緊急通報時や救急活動時の多言語通話サービスを導入します。

■対象

・立地企業

■目標・成果

・立地企業の成長、発展

■具体的な事業例

事業拡大・販路拡大支援事業　【港湾・企業振興課】

➢ 市内中小企業における販路拡大や新たなビジネスパートナーを得るための国内外への展示会や商談会への出展経費を補助する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
展示会や商談会への出展経費の補助件数	10 件	累計 50 件

人材確保支援事業　【港湾・企業振興課】

➢ 製造業等の労働力市場の開拓や有能な人材確保と定住促進のため、就職説明会等への出展経費を補助する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
就職セミナーへの出展経費等の補助件数	5 件	累計 25 件

職場環境改善事業　【港湾・企業振興課】

➢ 従業員の職場の定着率向上を目的とした、福利厚生、労働環境の改善のための設備投資などの経費を補助する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値(平成 30 年度)	目標値（令和 6 年度）
労働環境改善等のための経費補助件数	19 件	累計 100 件

外国人相談窓口設置（多文化共生総合相談窓口設置事業）【協働・男女平等参画室】

➢ 既存の国際交流サロンを拡充し、本市及び近隣市町に居住する外国人の一元的相談窓口を設置する。

【相談内容】

・在留手続、仕事のこと、病院、税金、年金、出産、子育て、教育、災害、住宅など

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
サロン利用者数	1,678 人	2,000 人

離職防止等処遇改善事業　【工業・雇用振興課】

➢ 働きやすい職場づくりに取り組む市内企業に対し、社労士などの専門家による企業コンサルティング、セミナーや研修などを実施することで、処遇改善を支援する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
処遇改善企業数	65 件	累計 150 件

緊急通報・救急活動時の多言語通話サービス導入　【消防本部総務課】

➢ 救急活動現場等における外国人対応として、三者間同時外国語通訳及び多言語音声翻訳アプリを導入する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
三者間同時外国語通訳及び多言語音声翻訳アプリ導入割合	-	100%（6 隊）

4-2　多様な産業集積（高度化）の推進

施策⑯　地理的優位性をいかした企業誘致の促進

■施策概要

新規立地及び企業の設備投資を呼び込むために、必要なインフラ整備を行うとともに、企業のニーズに応じた助成金制度により企業活動を支援し、多様な産業分野における企業進出を促進します。

■対象

・市内への進出希望企業

■目標・成果

・ものづくりを核とした産業集積地、物流拠点としての競争力の向上

■具体的な事業例

新千歳空港の機能充実と国内・国際航空輸送ネットワークの拠点形成
【空港政策課】

➢ 新千歳空港の国内・国際航空ネットワークの維持及び利用促進を図るため、老朽化した空港施設の更新・改良を行うほか、地震発生時の緊急輸送拠点機能の確保と航空ネットワークの維持及び北海道内における経済活動の継続性確保に必要となる空港施設の耐久性の向上を図る。
また、増大する来道者の受入れ環境の整備を進める。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
国内路線	28 路線	31 路線
国外路線	19 路線	34 路線

企業立地振興条例助成金　【港湾・企業振興課】

➢ 事業場設置助成金
事業場の新増設を行った企業に対し、2～3 年分の固定資産税相当額を助成。
➢ 雇用助成金
事業場の新増設に伴う新規雇用に対し、1 人につき 30 万円助成。
➢ 緑化助成金
事業場の新増設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の 30％を助成。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
事業場設置助成金	252,943 千円	304,494 千円
雇用助成金	30,600 千円	29,400 千円
緑化助成金	-	10,000 千円

苫小牧港管理組合負担金　【港湾・企業振興課】

➢　国際拠点港湾である苫小牧港の機能充実を図り、効率的な利用ができる港湾として整備を進めることで、地域の産業経済の活性化を図る。

＜主な事業＞

1　南ふ頭岸壁改良（国内幹線物流機能確保のための整備　：令和 2 年度完成予定

※複合一貫輸送※17 ターミナル改良事業　：平成 23 年度から実施

2　中央北ふ頭岸壁改良

港内混雑・滞船対策のほか、荷役の効率化を図るための整備

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年）	目標値（令和 6 年）
貨物取扱量（外貿）	17,550 千 t	22,144 千 t
貨物取扱量（内貿）	89,895 千 t	89,606 千 t

※17　*複合一貫輸送*

単一の輸送人の責任のもとで，異なる 2 つ以上の輸送手段を組合せて貨物を輸送すること。

4-3　地域間連携の促進

施策⑰　広域連携事業の推進

■施策概要

東胆振定住自立圏における地域間の連携を促進し、本市が持つ都市機能と近隣自治体が持つ魅力や強み（豊かな自然・第一次産業等）を深堀りするとともに、その価値を内外に発信する。

近年、多発する広域災害への備えを広域圏で進めるとともに、災害発生後の復旧・復興はもとより、経済活動の停滞（風評被害など）を回避するための取組を連携して実施する。

■対象

・空港関連事業者

・本市を含む、周辺市町村（広域連携）

■目標・成果

・広域での連携を促進し、地域ブランド力の向上

■具体的な事業例

新千歳空港を核とした地域活性化の推進　【空港政策課】

➢ 北海道内７空港の民間委託により、北海道全体における航空ネットワークの拡大と広域観光の振興、交通の要衝としての機能強化を図るため、「北海道のリーディングゲートウェイ」としてさらなる成長に向けた施策を運営事業者などの関係機関と連携して検討する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和６年度）
新千歳空港旅客数	23,632 千人	27,830 千人

広域連携による地域ブランド推進　【まちづくり推進課】

➢ 東胆振地域全体のブランド力を創出・発信することにより、本市から各町への回遊性の向上、さらには札幌圏などの大都市圏から当該地域へ入り込む交流人口の拡大につなげる。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和６年度）
地域ブランドの合同ＰＲ回数	６回	累計 20 回

防災体制の充実（防災備蓄品整備事業）　【危機管理室】

- 災害時広域相互応援に関する協定に基づく災害備蓄品の提供のほか、職員の派遣など相互応援を行う。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
備蓄品充足率	79％	100％

4 -4　充実した都市機能と豊かな自然の共生

施策⑱　持続可能な都市機能及び自然と共生した国際観光リゾートの形成

■施策概要

豊富かつ貴重な自然を観光資源とした、国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致により、投資を呼び込む機能を高め、新規雇用を創出するとともに市内への移住を促進します。

Society5.0 が掲げる新技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、持続可能な都市機能の整備として、市民や来訪者がストレスなく目的地への移動が可能となる、ＩＣＴを活用した交通サービス導入の検討を進めます。

近年、多発する広域災害から安全・安心を確保するため、市民への情報発信の強化に取り組みます。

■対象

・市民及び企業市民

■目標・成果

・持続可能な都市環境の整備を促進

■具体的な事業例

苫小牧版Ｍａａ Ｓ※18 構築事業
【まちづくり推進課／政策推進課】

➢　先端技術を活用した交通の在り方を検討する「(仮称) 苫小牧版Ｍａａ Ｓ構築に向けた推進協議会」を立ち上げ、本市に定住する市民及び本市を訪問する観光客に対して、利便性が高く、質の高い交通サービスの提供を目指す。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
地域課題の解決に向けた次世代モビリティに関するサービスの実装提供件数	-	累計 3 件

防災行政無線整備事業　【危機管理室】

➢　市内西部に設置（25 基）の防災行政無線を市内全域に整備・拡充する。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
屋外スピーカー設置基数	25 基	130 基

国際観光リゾートの形成　【国際リゾート戦略室】

➢　国際港湾・国際空港に隣接する地理的優位性をいかし、植苗地区の臨空ゾーンを国際リゾートエリアとして民間投資による自然と共生した滞在型施設等の整備を促進し、新千歳空港やリゾートエリアからの交流人口の拡大と新たな雇用機会の創出を目指す。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
訪日外国人宿泊延べ人数	35,780 人泊	42,560 人泊

ごみ分別アプリ事業　【ゼロごみ推進課】

➢　本市専用のごみ分別アプリを構築し、ごみ収集カレンダーや分別品目一覧のほか、ごみ収集日の通知などにより、わかりやすい情報発信に努め、さらなるごみ分別やリサイクルの促進を図る。

■重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	実績値（平成 30 年度）	目標値（令和 6 年度）
アプリダウンロード数※	-	20%

※総人口に対する割合

※18　*ＭａａＳ（Mobility　as　a　Service）*
ＩＣＴ（情報通信技術）を活用して交通をクラウド化し、全ての交通手段による移動を１つのサービスとして、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。